



関係人口増加への取組と市制施行70周年、食とアートのまちづくりについて

柴田 信 議員



質問 本市における関係人口増加に向けた取組について問う。

答弁 今年の4月11日にリニューアルオープンした里沼リゾート「HOTEL KOMORINU」では、既に運用を開始した宿泊施設、キャンプ場に加え、バーベキュー場もオープンしま

す。利用者ニーズを的確に捉えた質の高いサービス提供による施設の賑わいが期待されています。また、館林フィルムコミッションを立ち上げました。本市の知名度の向上に加え、聖地巡礼などの新たなロケツアーズにもつなげることが期待できるので、この事業を

活用し、地域の人々と多様に関わる関係人口の増加や地域愛着度の向上を図っていきたくと考えています。

質問 本市における食とアートのまちづくりの取組について問う。

答弁 令和6年6月30日、午前10時から館林市文化会館カルピスホールにて記念式典を開催します。内容としましては、館林市少年少女合唱団による国歌・市歌斉唱、館林市ふるさと応援大使の紹介、特別表彰、記

念講演を予定しています。

質問 本市における食とアートのまちづくりの取組について問う。

答弁 食に関しては、文化庁が食文化ミュージアムに選定した「製粉ミュージアム」や「麺—1グランプリ」といった食のイベントも開催されており、様々な形で食のまちづくりを推進していきたいと考えています。アートに関しては、日本におけるモダン・ムーブメントの建築に選定された建築

人口減少が本市の将来に与える影響について

岩上 博志 議員



質問 高齢化の進行による影響について伺います。

答弁 高齢化の進行は、本市において国民健康保険や後期高齢者医療保険、介護保険等の社会保障費が増大することにより、財政が圧迫されることが見込まれます。本市独自の試算は実施しておりませんが、国の見

解としては、2040年頃には、現在の約30%増としており、本市も同様な傾向になると考えられます。

質問 少子化の進行による影響について伺います。

答弁 人口の減少を通じて、「労働供給の減少、経済成長率の低下、現役世代の負担増加、行政サービスの

水準の低下」など、社会経済に多大な影響を及ぼすことが予想されます。現役世代の負担については、現在は、1人の高齢者を概ね2人の生産年齢者が支えています。約10年後には、高齢者1人を概ね1.6人の生産年齢者が支える状態になり、概ね1.25倍の増加と推計されます。

質問 税収減により健全な財政運営が難しくなると推測していることから、どのような手立てで、その難局

質問 本市のまちづくりの将来像について伺います。

答弁 現在、推し進めている産業団地の造成により、優良企業をより多く誘致することで税収増や雇用の確保を図っていきたくと考えています。そのほか、ネーミングライツの推進による収入増や、税の収納率向上、ふるさと納税のPR等、様々な手立てを進めていきたいと考えています。

質問 本市のまちづくりの将来像について伺います。

答弁 人口減少は全国的な問題で、本市では「少子化への対策と子育て支援」を予算の重点項目に掲げ、子ども園化事業や学校給食支援事業など様々な事業を展開しています。人口減少により生じる様々な影響を念頭におきながら、20年後を見据えた息の長い事業展開を図り、「館林市に住み続けたい・住みたい・行ってみたい」と思っていただけのような「まちづくり」を推進したいと考えています。